

市P連 広報委員研修会

令和7年10月9日(木)



「読まれやすい広報紙を楽しく作ろう」

富士宮市PTA連絡協議会の広報委員研修会が10月9日、市役所7階特大会議室で開かれました。市内小中学校のPTA会長や広報担当者など約50人が参加。「楽しくつくろう！広報紙」と題した講座やグループワークを繰り広げ、注目されやすい紙面づくりについて理解を深めました。

この日の講師を務めたのは、市内小中学生による取材と編集で発行する地域情報マガジンを発行している株式会社aim-designのモチヅキヒトミさんと土谷ゆかりさん。お二人からは写真の撮り方や文章のまとめ方、目に留まりやすいレイアウトなどを紹介されました。

文章のまとめ方では、新聞と同様に見出し、記事のあらましを伝えるリード文、本文があると読まれやすいこと、5W1H(「When(いつ)」「Where(どこで)」「Who(だれが)」「What(なにを)」「Why(なぜ)」「How(どのように)」)を念頭に文章を作るとまとまりがあることが伝えられました。

グループワークでは、A3サイズの紙に写真や見出しを置いて自由にレイアウトを考える時間になりました。参加者は注目してほしい記事や写真の配置を提案したり、記事と写真の量のバランスを話し合ったりし、他のグループと出来上がったものを見比べていました。

広報委員研修会は毎年この時期に開催し、各学校の担当者の困りごとや解決策などを情報共有する機会としています。本年度は編集の専門家から学び、より良い紙面づくりに役立ててもらいたいという趣旨の内容となりました。